

開館35周年記念

榮吉翁が愛でた陶芸家

寺池 静人 展

寺池静人は文化勲章受章者の楠部彌弍くすべ やいちに師事し、師より『人間を作れ』との薫陶を受けて、日々精進を重ねて来た陶芸家です。初代館長の敦井榮吉翁は彼の人柄を愛でて、作品を求めました。このたび、寺池静人の初期の力強い作品から華麗でかつ爽やかな作風の近作まで、43点の作品を一堂に展示いたします。



「岐花器」(1975)



「意」(1969)



「晨花瓶」(1991)



「春日」(1985)



「花小紋花瓶」(2011)



「風薫る」(2009)



制作中の寺池静人

寺池 静人 昭和8年(1933)2月8日生

陶芸家の寺池陶焔とうしゅうの長男として、京都市に生まれ、本名静雄。京都市立日吉ヶ丘高校彫刻科を卒業後、父陶焔に陶芸の手ほどきを受け、昭和28年楠部彌弍くすべ やいちが主宰する京都青陶会創立に参加し、以後文化勲章受章者の楠部彌弍に師事す。昭和30年日展に初入選し、以来日展、日本新工芸展を主に活躍し、個展も数多く開催す。同38年結婚を機に雅号を静人に改名。昭和49年(1974)パロリス国際陶芸展で大賞受賞、同50年「岐花器」(本館蔵)が日展特選となり日展依嘱となる。平成4年第4回花穂展(銀座・和光)出品作「富貴花瓶」が皇后陛下下買上げとなる。同8年日展評議員に推挙。同12年と17年に日本新工芸展で文部科学大臣賞を受賞し、平成22年同展出品作「風薫る」(本館蔵)で内閣総理大臣賞を受賞す。平成24年(2012)日展出品作「富貴想」により、平成25年度日本芸術院賞を受賞、作品は宮内庁買上げとなる。現在、日展会員、日本新工芸家連盟会長を務める。草花などのモチーフを線刻や面刻で表現し、淡い色調と釉滴金彩による優美で格調高い作品を制作し、高い評価を得ている。



会期 平成30年 4月9日(月)~6月23日(土) (2018)

- 開館/午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)
- 入館料/一般500円 大高生300円 中小生200円 団体割引・20名以上
- 休館日/日曜・祝日 土曜日は小・中学生無料

敦井美術館

〒950-0087 新潟市中央区東大通1丁目2-23北陸ビル(新潟駅より徒歩3分)
TEL: 025(247)3311 FAX: 025(247)3340
公益財団法人 敦井コレクション

開館35周年記念 榮吉翁が愛でた陶芸家 寺池静人展 出品目録

No	作 者	作 品 名	制 作 年	寸法	作品の出品及び受賞歴
				(高×横×縦cm又は高×径cm)	
1	寺池静人	意	昭和44年(1969)	60.0×40.0×29.0	第1回改組日展(東京都美術館)
2	〃	稜花器	昭和45年(1970)	23.0×45.5×42.5	京展(京都市美術館)
3	〃	尚花器	昭和47年(1972)	32.5×27.0×27.0	「元」展(西武渋谷)
4	〃	方容稜花器	昭和47年(1972)	30.5×45.0×45.0	第4回改組日展(東京都美術館)
5	〃	均窯鉢	昭和47年(1972)	9.6×13.0×12.5	
6	〃	緑方器	昭和49年(1974)	18.0×28.0×24.5	個展(東京高島屋)
7	〃	花の器	昭和50年(1975)	32.0×18.0	京展(京都市美術館)
8	〃	峻花器	昭和50年(1975)	34.0×38.0	第7回改組日展 特選受賞(東京都美術館)
9	〃	躍葉蕾花瓶	昭和52年(1977)	33.3×32.0	個展(京都・朝日画廊)
10	〃	辰砂釉花瓶	昭和53年(1978)	23.5×22.0	岐阜県可児郡兼山町の兼山窯にて制作
11	〃	玄彩蕾花瓶	昭和54年(1979)	29.3×17.5	玄象展(銀座・和光)
12	〃	躍葉花器	昭和54年(1979)	42.5×27.0	第11回改組日展(東京都美術館)
13	〃	花の盛器	昭和55年(1980)	16.5×29.5	第2回日本新工芸展(東急本店)
14	〃	緑韻富貴花瓶	昭和56年(1981)	28.0×30.0	今日の陶芸展(銀座・北辰画廊)
15	〃	花のうたⅡ	昭和56年(1981)	21.5×21.2	第3回日本新工芸展 会員賞受賞(東急本店)
16	〃	緑韻Ⅲ	昭和56年(1981)	31.0×29.0	第13回改組日展(東京都美術館)
17	〃	彩金椿文香炉(3月)	昭和57年(1982)	11.5×11.0	敦井榮吉翁制作依頼
18	〃	白磁桜花文香炉(4月)	昭和57年(1982)	12.0×12.0	敦井榮吉翁制作依頼
19	〃	彩金富貴文香炉(5月)	昭和57年(1982)	11.0×11.2	敦井榮吉翁制作依頼
20	〃	白磁紫陽花香炉(6月)	昭和57年(1982)	11.5×11.0	敦井榮吉翁制作依頼
21	〃	華心	昭和58年(1983)	31.5×23.7	第15回改組日展(東京都美術館)
22	〃	彩金富貴皿	昭和59年(1984)	9.5×35.5	個展(銀座・和光)
23	〃	春日	昭和60年(1985)	45.0×28.0×24.0	第17回改組日展(東京都美術館)
24	〃	華	昭和61年(1986)	29.5×23.0	第8回日本新工芸展(東急本店)
25	〃	想	昭和62年(1987)	38.0×38.0×22.0	第19回改組日展(東京都美術館)
26	〃	彩金松文香炉(正月)	昭和63年(1988)	12.8×10.2	敦井家制作依頼
27	〃	扁壺	平成元年(1989)	32.5×32.5×20.8	第11回日本新工芸展(東急本店)
28	〃	富貴文飾皿	平成3年(1991)	7.0×46.0	個展(東京、大阪高島屋)
29	〃	晨花瓶	平成3年(1991)	31.5×24.6	〃 〃
30	〃	華更紗筥	平成3年(1991)	10.0×12.8×12.8	〃 〃
31	〃	実る	平成4年(1992)	34.5×28.5	第24回改組日展(東京都美術館)
32	〃	富貴筥	平成6年(1994)	33.5×21.5	第16回日本新工芸展 文部大臣賞受賞(東急本店)
33	〃	栴榴香炉	平成7年(1995)	12.0×12.0	個展(大阪高島屋)
34	〃	春日の筥	平成10年(1998)	20.0×24.0	第20回日本新工芸展(東急本店)
35	〃	方壺Ⅲ	平成12年(2000)	37.0×21.0×22.0	平成13年個展(新潟三越)、第22回日本新工芸展 文部大臣賞受賞
36	〃	春陽	平成15年(2003)	33.0×30.0×30.0	敦井美術館開館20周年記念作、第35回改組日展(東京都美術館)
37	〃	花ノ譜Ⅱ	平成17年(2005)	37.0×21.0×21.0	第27回日本新工芸展 文部大臣賞受賞(上野の森美術館)
38	〃	草花譜花壺	平成18年(2006)	32.0×31.0	第38回改組日展(東京都美術館)
39	〃	象(悠)	平成20年(2008)	33.7×24.3×19.3	平成21年喜寿記念の個展(日本橋三越本店)
40	〃	富貴悠心	平成20年(2008)	35.0×34.5×26.5	第40回改組日展 日展審査員を務める(国立新美術館)
41	〃	風薫る	平成21年(2009)	36.0×36.0×20.4	平成22年第32回日本新工芸展 内閣総理大臣賞受賞(国立新美術館)
42	〃	花小紋花瓶	平成23年(2011)	27.0×31.0×30.5	平成24年個展(日本橋三越本店)
43	〃	富貴想	平成25年(2013)	29.8×26.0×20.4	平成24年の第44回改組日展出品作の「富貴想」が日本芸術院賞を受賞、宮内庁買上となる。翌年同じデザインで制作した受賞記念作5点の内の1点